

第3回医療系進学希望者インターンシップ（12/18）の報告

12月18日（火）第3回の医療系体験実習が耳原総合病院において実施されました。参加者は26名で内訳は医師体験10名薬剤師体験7名リハビリ体験3名看護師体験6名でした。医師体験は全員3回連続参加で、より充実した内容を体験することができ、医療に対する興味感心が一層深まったようです。

アンケートを実施したところ、医療インターンシップに参加して「とてもよかった」「よかった」と答えた生徒が3回連続100%でした。

生徒の感想より

- ・BLSについてちゃんと説明してもらえたのがよかった。以前は不安だったAEDを使った救急処置を今なら実際に行えると思いました。「やらないよりやること」が大切だと思った。個別の相談もできてとても充実した体験だった。
- ・命の大切さを再確認できました。自分から進んで人を助けたいと思いました。とてもいい経験となりました。
- ・医療従事者の色々な現実の話が聞けてよかった。医療の現場をより身近に感じることができたし、今までよりも医療関係のような人の役に立つ仕事により興味がわき目指したいと思いました。貴重な体験になりました。
- ・看護師体験で手浴のお手伝いをさせていただいた方に大変感謝していただきました。満面の笑みで私たちや看護師さんまで思わず笑顔に。また、話をするだけで感激して涙を流して下さった方もおられ、もらい泣きをしてしまいました。人の命に関わる仕事をして、やりがいがあり、周りの人々に感謝される仕事は、医療系が一番だと思います。
- ・実際に患者さんと接したり、看護師の人と話をして、看護師になりたいと強く思うようになりました。患者さんが笑顔で話をしてくれたことがすごくうれしかった。
- ・リハビリの仕事は、本で調べることしかできなかったが、貴重な体験になった。



耳原総合病院長の話



集合写真



上：薬剤師体験

下：看護師体験



上：医師体験

下：リハビリ体験

